

辨シ那珂ヲ東西トシ、久慈ヲ東西トスルガ如キハ、皆郡名第一第二各郡ノ下ニ
辨セリ、コハニ載スルモノハ、更ニ別名ヲ設ケ、分テ一郡トセル類ノミナリニ

〔新編常陸國誌俗稱郡名〕吉田郡多與之 那珂郡東邊ノ地ニテ、本郡三分ノ一ニ居ル、吉田郷ヲ本ト

ス、故ニ吉田郡ト云フ、將門記ニ、將門常陸ニ在テ、以下原本缺

補、貞盛ノ所在ヲ尋ヅヌル條ニ、爰猶相尋之間、漸隔一旬、僅吉田郡、赫間之江邊、拘得貞盛、源扶之

妻云云、宮本元球云、本國ノ内、私ニ稱セル郡名ニテハ、吉田郡最モ古シ、嘉元田文ニ、吉田郡廿三

町一段内、恒富倉員按、吉田郡倉員アリ、今其所ヲ失ス、鹽井河氏アリ、今其所ヲ失ス、鹽井河大野、石前

武田、大戸、長岡、中野根今詳ナラズ、平戸、馬渡、石川、戸田野トアルモノ、皆其地ノ目ナリ、又大掾傳記ニ、

吉田氏族ノ姓氏、菖蒲井、中山、方波見並上、石崎、大戸、石河、盛戸今森、島田、大野、平戸、谷田、部、勝倉、

武田、堀口、市毛、猫崎大戸、蛭町、大泉並下、道理山三段、田八辻按、其所詳ナラズ、江戸、重通、室伏、某

テ、郡境ノ概略ヲ知ルベキナリ、ソノ域ハ、今小鶴川ヲ西界トシテ、ソノ東北ヨリ那珂東ニ渡リ

テ、ソノ南邊ニ若干アリシナリ、按ズルニ、藥王院延元二年、觀應三年、文和二年、貞治五年、應安元

數、大永中記ス所ノ諸草、心車鈔等ニ、吉田郡ノ稱アリ、其他枚舉スルニ違アラズ、

〔將門記〕新皇勅曰、藤氏等可指申、掾貞盛并爲憲等之所在、于時藤氏等奏曰、如聞其身如浮雲飛去、飛

來、宿處不定也、奏訖、爰猶相尋之間、漸隔一旬、僅吉田郡、赫間之江邊、拘得掾貞盛、源扶之妻、

〔新編常陸國誌俗稱郡名〕佐都郡土 久慈郡ノ東邊ナリ、本郡三分ノ一ニ居ル、佐都ヲ以テ名稱ト

セルハ、本郡薩都郷ヲ本トスレバナリ、

補、佐都河ヲ界ヒシテ、東西二郡ニ分チシト見エテ、弘安太田文ニ、佐都東二百八十九町八段三

百步、内東岡田、西岡田、根本大森、泉、今泉、千根、波田、小澤、佐都西二百五十六丁三段小、内小野崎、中

小野崎、阿久津、小野、西河内、吉津、磯部、石神、鎌田、東河内、大田、白岩、世谷、大橋、加津見、澤ノ名アリ、以

テ、